

福岡市 Well-being & SDGs 登録制度：マスター

事業者名	株式会社荏原製作所 九州支社
所在地	福岡市博多区美野島 1 -2-8NT ビル
市内拠点所在地	(所在地が市外の場合のみ記載) —
業種	建設業
電話番号	092-415-8311
ホームページ	https://www.ebara.com/jp-ja/

Well-being 向上 に向けた取組み	「社員が生き生きと働けるように働き方を変え、会社と社員が共に成長する環境を目指す」という方針のもと、社員の「働きやすさ」の向上・促進する施策を検討・導入しています。		
アンケート実施	○	アンケートの 社内共有	○

■SDGs達成に向けた取組みチェックシート

事業者名: 株式会社荏原製作所 九州支社

カテゴリー	チェック項目	3側面該当			具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs																
		環境	社会	経済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境を整えている。			○ ○	2022年1月に社長直轄のプロジェクトを発足させ、多様な人材の知と知(人と人)が繋がることで、様々なイノベーションを起こせる世界の実現を目指しています。						○			○	○							
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。			○ ○	「働く場所と時間の選択肢の拡大」を施策として在宅勤務制度をアフターコロナでも継続して利用可能な制度に整備すると同時に、外部サテライトオフィスとの提携、旅行先で勤務可能とするワーケーションの導入、フレックスタイム制度や週3日制度の検討を進めています。						○			○	○							
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。			○ ○	相談窓口として専任部門員、リエゾン委員を配置。専任部門員、リエゾン委員の活動を活用した職場への人権と多様性尊重の意識の浸透活動を行っています。							○			○	○					○	
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。			○ ○	従業員が心身ともに健康的なライフスタイルを維持できるよう様々な対策を講じています。超過勤務者へのフォロー体制、働き方改革の支援、オンライン活用によるコミュニケーション促進、ストレスチェックに関する取組等。						○		○		○							
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。			○ ○	荏原グループ全体の共通基盤教育と位置づけ、各階層に求められるマインド・スキルの習得を目的とした階層別研修を実施しています。							○	○			○	○					
環境	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○ ○	環境負荷低減について環境目標を設定しCO2・水・資源循環の観点で環境マネジメントを実践しています。廃棄物分別の徹底お寄り処理委託先の見直しによる再資源化率の向上を進めています。						○			○				○	○		○	
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○		○ ○	設備の省エネ運転、低CO2電力調達拡大、太陽光発電設備導入などを行っています。2022年1月にカーボンニュートラルプロジェクトが発足し2050年カーボンニュートラル実現に向け自社活動によるGHG排出削減、自社サプライチェーンにわたるGHG排出削減の検討を進めています。									○				○	○			
環境	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○		○ ○	水と空気と環境の分野で、製品とサービスのイノベーションを通じて社会・産業インフラを効率的で強靱なものにし、世界の人々が快適で豊かに暮らせる持続可能な社会の実現を目指しています。環境管理活動は、経済活動の基盤である生態系の保全に結びつく重要な活動であることを認識し環境方針を推進しています。									○				○	○	○	○	
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			超純水製造における水再利用や漏水対策。水使用量を見える化し、節水に取り組んでいます。							○										
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。			○ ○	クラウドを活用した予防保全や遠隔監視などのメンテナンスメニューによって、機器メーカーならではのきめ細やかさでお客様に寄り添い、機器の性能や機能を長期にわたって維持・管理します。						○							○				
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○ ○	さまざまなステークホルダーの皆様と強固なパートナーシップを築き、一緒に安全・安心な産業・くらしを支えています。地域住民・企業との連携活動、大学との共同研究、EOLの市民団体とのオープンイノベーション活動を行っています。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。			○	個人情報保護に対する規制が強化される中、法改正をキャッチアップして対応しています。情報セキュリティ管理体制の構築・情報セキュリティに関する各種規程の制定・運用、社員教育・訓練の実施ソフトウェアや機器でのセキュリティ対策を行っています。																○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。			○	腐敗防止プログラムの展開。コンプライアンス意識の徹底。自浄作用の向上及びリスク低減を図るための取組を行っています。																○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。			○	10年後の2030年度に向けた長期ビジョン「E-Vision2030」を策定しました。E-Vision2030では「技術で、熱く、世界を支える」というスローガンを掲げ、当社グループが2030年に向けて解決・改善していく、5つのマテリアリティ(重要課題)を設定し全社員が共有しています。										○	○					○	
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	大地震や大規模な感染症などの発生時、市民の生命・財産にかかわる重要な施設の機能継続や早期復旧を支援するために製品・サービスを提供することは、当社の重要な業務と考えています。そこで、事業継続マネジメントシステムを構築し、組織体制や計画をまとめています。										○		○				○	